

のかるまい 議会だより

No. 193

平成25年4月24日

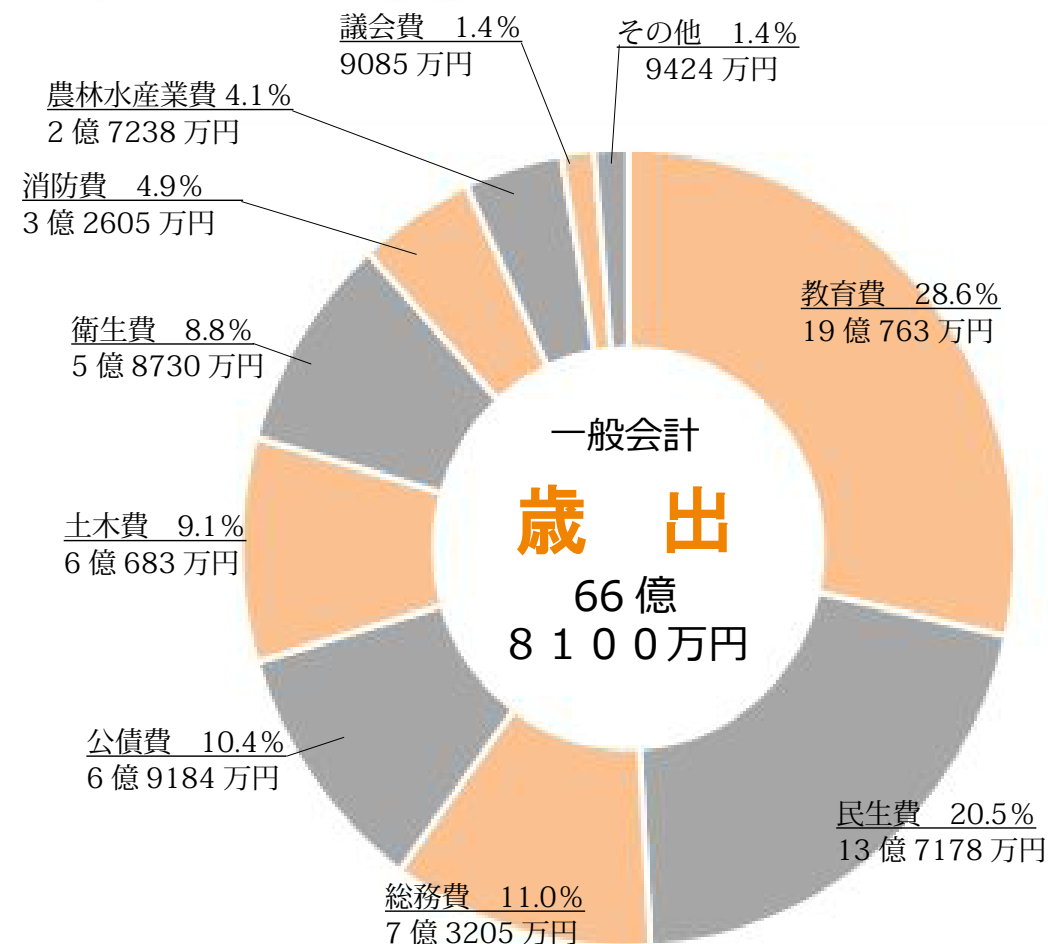
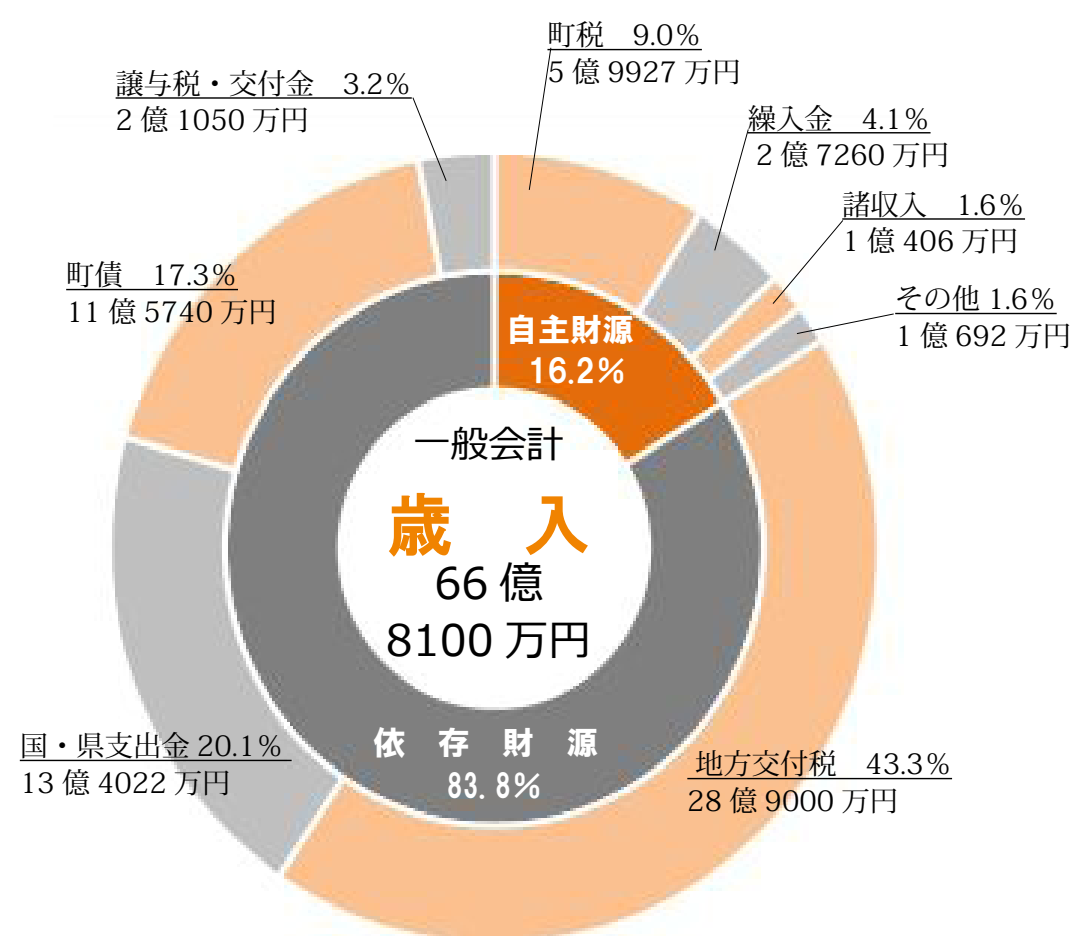
名前を呼ばれて元気にお返事！
(軽米保育園入園式)

25年度予算は前年比13.9%増・・・2
一般質問（6議員が質問）・・・8
議会活動レポート・・・14

前年度より13.9%増額

平成25年度
一般会計当初予算

総額66億8100万円



※グラフの数字はすべて1万円未満の金額を切り捨てています。

軽米小建設費、道路維持費などが増

平成25年度の一般会計当初予算は66億8100万円と、前年比で8億6100万円（13.9%）の増額となりました。

歳出では役場職員の減員により人件費が6502万円（5.1%）減額した一方、軽米小学校の建設事業や道路橋りょう維持費の増額により、建設事業費が6億3368万円（59.7%）の増額となっています。

また、25年度の新規事業としては、軽米小学校用に伐採した「町有林の造林・保育事業」、晴山地区に常設保育園建設のための調査測量、小中学校統合に伴う「スクールバスの購入」、新規学卒者等の雇用拡大、安定化のための「軽米町新規求職者等地域雇用促進奨励金」などが計画されています。

第16回（3月）定例会は、2月28日から3月12日までの13日間の会期で開かれました。一般質問は6議員が登壇し、町政執行をたどりました。（8～13ページに掲載）

新年度当初予算6件、新規条例4件、条例改正9件などの23議案が提案され、全ての議案は予算等審査特別委員会を設置し、審査の結果、最終本会議で報告、平成25年度一般会計予算と平成24年度一般会計補正予算に反対があり、討論がおこなわれました。（6ページに掲載）

採決の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

かるまい議会だより

目次 No.193

- 4 可決議案
- 6 討論
- 7 特別委員会
- 8 一般質問
 - 8 古舘機智男議員
協働のまちづくりについて
 - 9 茶屋隆議員
八戸平原事業について
 - 10 前田泰穂議員
町職員の給与について
 - 11 松浦満雄議員
交通行政について
 - 12 泉山優議員
早渡地区の最終処分場
建設計画について
 - 13 山本幸男議員
軽米「湯っこ」について
- 14 議会活動レポート
- 15 議会の動き
- 16 未来に残したい
軽米の風景

表紙の写真



4月3日に軽米保育園の入園式がおこなわれました。6人が新しく入園し、名前を呼ばれた児童たちは元気に返事をしていました。

新たに4条例を制定

条例

国の特別措置法の規定に基づき、軽米町新型インフルエンザ等対策本部条例を制定しました。

道路法の改正に伴い、町道の構造の技術的基準等を定める条例を制定しました。

河川法の改正に伴い、軽米町準用河川の河川管理施設等の構造の技術的基準等を定める条例を制定しました。

水道法の改正に伴い、軽米町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例を制定しました。

条例の改正

国の法律改正に伴い、軽米町情報公開条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、軽米町ひとり親家庭医療費給付条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、軽米町乳幼児、妊産婦及び重度心身障害者医療費給付条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、軽米町寡婦等医療費給付条例の一部を改正しました。

小軽米保育園の定員を45人から50人にするため、保育所設置条例の一部を改正しました。

大清水地区活性化センターを新設したため、中山間地域活性化施設設置条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、軽米町道路占有料徴収条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、町営住宅管理条例の一部を改正しました。

国の法律改正に伴い、軽米町下水道条例の一部を改正しました。

補正予算

平成24年度一般会計補正予算（第5号）

4906万円を追加し、総額を61億4218万9千円に補正しました。

委員長報告

全議案ともに可決

本田秀一 特別委員長

第16回軽米町議会定例会に付託された案件は条例の制定及び一部改正に関する議案13件、中山間地域活性化施設の指定管理者の指定に関する議案1件、辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定に関する議案1件、予算案件6件、追加議案の町道蓮台野勘丁線歩道整備工事の変更請負契約の締結に関し議決を求める案件までの23議案であった。

平成25年度一般会計予算では、新規事業である軽米町新規求職者等地域雇用奨励金交付要綱の告示についての質疑があり、また歳出では農作物の風評被害対策、早渡地区環境調査業務委託料、食フェスタの経費について、雑穀等の販路拡大など、多岐にわたり活発な質疑がされた。また、平成24年度軽米町一般会計補正予算では、軽米町企業立地奨励事業費補助金事業について、企業への補助金等の交付にあたっては、企業の継続雇用の確保、拡充等に関する協定等が今後必要という意見が出されるなど、慎重審査がされた。

審査の結果、平成25年度軽米町一般会計予算と平成24年度軽米町一般会計補正予算は採決の結果賛成多数で可決、そのほかの21議案は委員全員賛成で原案のとおり可決した。

人事案件

固定資産評価審査委員に坂上清さん（観音林南）を選任することに同意しました。

その他

大清水地区活性化センターの指定管理者を大清水地区活性化センター運営協議会としました。

小玉川辺地の公共的施設を整備するため、総合整備計画を策定しました。

変更契約

軽米小学校建築工事の契約額に653万7300円を追加し、総契約額を7億6306万2300円としました。

請願陳情

採択

消費税増税に反対する請願（請願者・くらしを考えるネットワーク）

「生活保護基準の引き下げはしないこと」

議員発議

の意見書提出を国に求める請願（請願者・岩手県生活と健康を守る会連合会）

「生活保護基準の引き下げはしないこと」を国に求める意見書

TPP交渉参加を行わないことを求める意見書

3つあった常任委員会を2つにするため、軽米町議会委員会条例を一部改正しました。

議会報編集委員の任期を2年と定めるため、軽米町議会報の発行に関する条例を一部改正しました。

平成25年度当初予算の内訳

（単位：千円）

会計別		当初予算	前年度当初予算	前年度比較	伸び率
一般会計		6,681,000	5,865,000	816,000	13.9%
特別会計	国民健康保険	1,363,000	1,379,000	△ 16,000	△ 1.2%
	後期高齢者	80,000	79,300	700	0.9%
	介護保険	72,900	71,000	1,900	2.7%
	下水道事業	161,400	159,500	1,900	1.2%
水道事業 (支出)		921,843	727,314	194,529	26.7%
合計		9,280,143	8,281,114	999,029	12.1%

茶屋 隆 議員

- ・平成 25 年度一般会計当初予算
- ・平成 24 年度一般会計補正予算

に **反対**

軽米高校の25年度から1学級減ということを考えれば支援は重要と思うが、支援の方法に問題がある。高校の副食給食の給食費を半額補助することは、小中学校の給食費との整合性を考えても不公平である。町長は議会に対し、「給食費助成については実施内容をさらに検討する。併せて小中学校の給食費に対しても助成できる制度を検討し6月議会に提案する」と言っていた。小中学校の給食費

補助を2分の1にしてから高校を3分の1にするというなら納得するが、順番が逆ではないか。高校へは違う形で支援すべきである。軽米町企業立地奨励事業補助金は要綱に基づいて県と町が2分の1ずつ補助するものである。要綱の中では、新設とは町内で新たに工場を建設することとなっている。現在交付を受けようとしている企業は既存の工場を譲り受け、職員もいったん解雇した形をとり会社名を変え再雇用している。2千万円という金額を基金を取り崩してまで補助することに町民の納得が得られるとは思えない。税金はもっと有意義に使うべきである。

松浦 満雄 議員

- ・全ての議案に **賛成**

25年度当初予算で、新たな高校支援策として副食給食の半額補助を打ち出した。高校の存続が危機的な状況にある中、思い切った施策に踏み切ったと高く評価する。今回の補助金は他町村の高校支援と比較して決して多額なものではない。軽米高校は現在58人しか志願しておらず、実際の入学者はさらに減る恐れがある。副食給食を全額補助してもやぶさかではないと思うっている。魅力ある

高校づくりに貢献するものと確信し、町長の英断を高く評価する。地域雇用促進奨励金制度を創設する予算も新たに計上されている。毎年20人程度の若年層の新規雇用が増えることにより、若者が軽米で就職し地元に着することが期待できる。一般会計補正予算について、企業立地促進奨励事業費補助金は、県が企業を助成の対象と認定しなければ町も認定できない制度である。県と協議しながら進めてきたもので、適正なものである。多少の個人的な異論があつたとしても、当局は今後の補正予算で対応を見直していくとの答弁があり、問題はないと考える。

古舘 機智男 議員

- ・平成 25 年度一般会計当初予算
- ・平成 24 年度一般会計補正予算

に **反対**

町長の施政方針演述の中では、農業が基幹産業である軽米町へ多大な影響を与えるTPPには一言も触れなかった。また、自殺者が二戸地区で多いという問題への対策も取り上げられなかった。軽米高校の給食支援について、一部の役員会のみで決められたとの説明があつた。高校は本当にそれを望んでいるのか。広く町民に実情を知らせ、軽米高校を守っていくという機運を醸成すること

が大事だと思う。新規求職者地域雇用促進奨励金の要綱は特定企業に対する交付要綱といっても過言ではない。一部の企業を利用するための施策はやるべきではない。企業立地促進奨励事業費補助金の交付要綱の中では、新設とは町内に新たに工場を建設することと定義されている。今度適用しようとする会社は町内に新たに工場を建設するものではない。県が認めたからと言って、町の要綱と著しく離れた適用はすべきでない。一企業に手厚い補助をする一方で、町民への福祉がなされていない。協働参画のまちづくりから大きくかけ離れた施策と感じる。

ここが聞きたい特別委員会

ここでは特別委員会の質疑の一部を掲載しています。

道路工事

問 道路改修工事をして冬期間におこなっているが、品質や経費に問題はないか。

答 工事が冬期間にわたる場合には冬季補正をおこなっており、品質に問題はない。

医療費無料化

問 中学生までの医療費を無料化しているが、町内に診療科がないものや、紹介によって町外で診療する場合は対象外となっている。医療費無料化の範囲を広げる考えはないか。

答 診療科がないなど、事情がある場合の対応は検討した

有害鳥獣

問 有害鳥獣の町内での被害状況は。

答 大町の電線にカラスが多く止まっており、糞の被害について町民から苦情があつた。東北電力に報告し、カラスが止まらないような対策を講じてもらうことにした。そのほか、地域懇談会では各地でカラスやカワウの、山内地区でのサルの出没について報告があつた。農林産物の被害は報告を受けてはいるが、これまで統計的な調査をおこなっていない。現在、二戸管内市町村で広域的な対策を検討している。

問 ダム湖にブラックバスがおり、生態系を崩すおそれがある。対策は。

答 毎年、漁協の駆除作業に協力している。有効な駆除方法は確立されていないが、方法を検討する。

食フェスタ

問 食フェスタの事業費の補助金は

答 25年度までは県から3分の2の補助がある。補助事業がなくなった後も継続したい。会場についてはより集客できるように協議していく。

下水道整備

問 向川原ニュータウンは合併浄化槽を使っているが、今

後下水道化の予定はあるか。

答 下水道設備は整備してあるが、建設当時には終末処理場が整備されていなかったため、現在は合併浄化槽を使用している。向川原地区の下水道整備が進み次第、下水道に接続することになっている。

多くの人が集まった食フェスタ



古 舘 機智男 議員



質問 ①町長が約束していた、上館地区の鶏糞処理場の住民説明会は実施したか。
②地域懇談会の参加者は年々減少している。今後の改善案は。

③現在の町のホームページは協働の町づくりに役立っているか。

町長 ①事業主体に要請し、町での説明会開催も検討していたが、事業が中止となったことから開催は見送った。
②より多くの町民の方から参加いただけるよう、開催時期や場所を

検討していく。

③ホームページを充実させ、協働参画の取り組みの現状などの情報提供をおこなっている。

再質問 ①土地造成は終了しており、別の用途に使われるのでは、という不安の声もある。これまで何度も地元住民から要望があった。開催すべきでは。

②地域懇談会を町からの報告ではなく、町民の意見を聞くような懇談会にしてはどうか。
③町のインターネット掲示板は、書き込みが

問 地域懇談会の参加者減、対策は 答 開催時期や場所を検討する

まちづくり

少ない。町と町民との交流の場としては。ホームページの町長挨拶はいつごろ作成したものか。更新が不十分では。
町長 ①現在は事業中止による事後処理を進めている。完了後に改めて報告を検討する。
②参加者減少を食い止めるよう検討する。



地域懇談会

その他の質問

問 以前提案した水道水源保護条例の検討結果は
答 流域沿いの市町村と協議が必要、協議していく
問 県北広域のごみ処理計画、町の考えは
答 情報が不十分、町としてはごみ減量化を推進
問 灯油が高騰、商品券等で福祉対策を
答 二戸管内市町村の動向や灯油価格の推移を注視

問 八戸平原事業の施設、有効活用を 答 農業者の理解を得、施設整備

質問 八戸平原事業で整備した施設の利用状況は。有効活用すべきと思うが、今後の計画は。

平成24年度の実績は、利用者数で105人、総使用量は1568立方メートルとなっている。

町長 町内の施設としては共同給水栓が19か所設置されている。土地改良区の組合員が用水管理組合を組織し、希望者に農業用水の供

給をおこなっている。圃の実績から、根菜類の生育や果樹の防霜・肥培効果も認められている。

畑地かんがい末端施設の整備には20ヘクタール以上の受益面積が必要であり、受益者負担も発生することなどからこれまで整備に取り組めない状況であった。

今後は適切な輪作体系の確立を図り、より収益性の高い園芸品目の導入を促進することで、関係農業者の理解をいただきながら末端施設の整備を進めたい。

再質問 施設を利用し



実証展示圃の見学会

その他の質問

問 以前話があった鶏糞発電施設計画の現状は
答 事業者が複数の市町村で候補地を選定中、当町への建設が決定したわけではない

茶 屋 隆 議員



前田泰穂 議員



質問 ①国家公務員の給与引き下げに伴い、国では自治体に対して給与引き下げを求めている。町の対応は。

②当町のラスパイレス指数（国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準）は県内でも最低レベルにある。原因と今後の対応は。

③当町の役場職員の年齢構成はどのようになっているか。

町長 ①今回の国からの指導は一律に減額を求めるものではなく、ラスパイレス指数

問 国が給与引き下げ指導、町の対応は

答 当町は対象外、近隣の動向を注視

職員給与

と思うが、対策は。

町長 年齢層を広げて採用し、改善していく。

再質問 ①年金の支給開始年齢の引き上げに伴う、定年の引き上げに関する法令改正について以前説明されたが、現状は。

②昭和36年生まれ以降の職員は年金支給年齢が65歳からとなる。退職後5年間収入がないことになるが、再任用制度等も含めどのように対応するのか。

総務課長 ①定年引き上げをせずに再任用等で対応するよう国から通知があった。②退職者の意向に沿って再任用等を行っている。

軽米町役場職員の年齢構成
(平成24年4月1日時点)

年齢	人数	構成比
20歳以下	0人	0.0%
21歳～25歳	12人	8.4%
26歳～30歳	9人	6.3%
31歳～35歳	9人	6.3%
36歳～40歳	8人	5.6%
41歳～45歳	13人	9.1%
46歳～50歳	30人	21.0%
51歳～55歳	36人	25.2%
56歳～60歳	24人	16.8%
60歳以上(再任用)	2人	1.4%
合計	143人	100.0%

その他の質問

問 消費税増税による町財政への影響は

答 各種税法も改正されるため総括的な影響は不明、歳出増の見込み

問 生活保護見直しに対する町の施策は

答 具体的な情報が入り次第県と協議し検討

交通行政

問 デマンド交通の実施時期は

答 平成26年4月から実施予定

質問 ①町長の公約でもあるデマンド交通の具体的な仕組みは。

②デマンド交通の実施時期は。

③行政区活動交付金や地域活動支援事業費補助金を活用して地域での取り組みは可能か。

併せて、町民バスの運行していない地域もすべて週2回運行する、中心街の滞在時間を少しでも広げるといふ3つを実現させることで通院や買い物物の利便性の向上を図る。

また、午前11時ごろから午後1時ごろに町中心部を走る「まちなか線(仮称)」を運行し、中心商店街の利便性を向上させる。

松浦満雄 議員



総務課長 ①より利用しやすいバス停の配置、週1回しかバスが

②町内中学校の統合とあわせ、平成26年4月実施を予定している。

③地域住民が自家用車を利用して有償送迎サービスをおこなうには、法人登録、運輸支局への登録、会計管理者や運転者の認定講習

その他の質問

問 高齢者や独居老人が暮らせるグループホームを町中心部に建設してはどうか

答 ニーズを調査し、関係機関と連携し整備を検討



町民バス

の終了などが必要となり、実施には相当の準備が必要と思われる。

しかし、将来的には輸送サービスの選択肢として検討する必要はあると考えている。実施の際に行政区活動交付金等を活用することは可能である。

再質問 町長は公約の中で交通弱者の救済をうたっている。町民にわかりやすい説明を。

町長 検討材料は多いと考えている。広く意見を聞き検討したい。



質問 ①平成24年12月27日に、事業主体から県へ事前協議書が提出されたとの報道があった。今後の審査の流れと、その過程での町のかかわりは。また、町の意見は県の判断にどの程度反映されるのか。

②県では次期処分場の準備基本計画を24年度内に策定し、25年度に複数の候補地を上げて26年に絞り込むとのことだが、早渡地区の建設計画との関連はあるか。

町長 ①事前協議書提

出後、内容に不備がある場合は事業者に補正を求める。その後、県では設置予定場所の市町村長や関係機関に必要に応じて意見を求め、事業者はその意見に対する対応を県に回答する。その上で県は事前協議の可否を判断する。判断には県の意向が大きいものと考えている。

②現在、報道された以上のことは知り得ていない。25年度に市町村への説明等が予定されており、今後具体的な計画が明らかになると考えている。

問 事業者が事前協議書を提出、今後の流れは

答 県が町や関係機関に意見を求める

産廃処分場



産廃処分場建設に関する住民説明会

再質問 ①県が事業主体に不明事項の説明を求めたとのことだが、内容は。

②事前協議書に一般廃棄物の処理も受け入れるという記述があると聞いたが事実か。

町長 県に対し定期的に情報の開示請求をし、情報収集に当たりたい。

町民生活課長 ①県では事前協議書の内容を精査し、不明事項を業者に照会した。現在はその回答を県で内容確認している段階であり、開示までは至っていない。回答の写しを得た段階で公表している。

②計画では一般廃棄物も含む処理施設となっている。一般廃棄物は基本的に自治体で処理することとなっており、他市町村からの持ち込みには町の許可が必要である。よって、一般廃棄物が他市町村から無断で持ち込まれるということは考えられない。

入浴施設

問 軽米に建設の計画あるか

答 老人福祉センター改築と併せ検討

質問 ①町内の入浴施設の建設について、具体的な計画はあるか。

②計画があるなら、町長が期待する効果は。また、計画がない場合、隣接市町村と契約・協定を結ぶ考えはないか。

想される。町内では老人福祉センターに浴場が設置されており、平成23年度の利用者は高齢者8226人、一般利用者723人となっている。新軽米総合発展計画では既存の福祉施設の有効活用や、健康の維持・増進などを目的とした複合型交流施設の整備も検討することとしており、費用

対効果や財政状況を踏まえて研究していく。

②他市町村との協定には町民のニーズや利用方法、交通手段など多くの課題がある。これから調査研究していく。

再質問 多くの町民が

町外の入浴施設を利用している。町民の交流の場にもなるし、健康増進の効果も見込める。企業誘致にも有利に働くと思う。共稼ぎの家庭などにも喜ばれるのでは。町長が言う子育て日本一のまちづくりにも貢献するものと思われる。建設を望む。



町長 ①設置・経営には維持費や利用者の確保など厳しい運営が予想される。町内では老人福祉センターに浴場が設置されており、平成23年度の利用者は高齢者8226人、一般利用者723人となっている。新軽米総合発展計画では既存の福祉施設の有効活用や、健康の維持・増進などを目的とした複合型交流施設の整備も検討することとしており、費用

その他の質問

問 事業者が産廃処分場の事前協議書を県に提出、町長の意向を改めて伺う

答 町民と一丸となり建設阻止を県に強く訴える

問 誘致企業への支援策は

答 地域雇用促進奨励金を新設、新年度予算に計上

問 在八軽米郷和会の参加者減少、支援策必要では

答 事務局と協議し、会員や会合参加者増加のため積極的に支援していく

岩手県近隣市町村にある入浴施設 (一部)

奥中山高原温泉	一戸町
宮田温泉	一戸町
ふるさとの館	九戸村
金田一温泉郷	二戸市
天台の湯	二戸市
国民宿舎えぼし荘	野田村
大谷温泉	洋野町
グリーンヒルおおの	洋野町
アグリパークおおさわ	洋野町

議会の動き

議会は、定例会のほかにもさまざまな活動をおこなっています。
主な動きをお知らせします。

【1月】

▽1日・交通安全協会観音林・晴高支部交通安全祈願祭▽3日・消防団出初式▽7日・新春まちづくり交賀会▽8日・手をつなぐ育成会、新春もちつき大会▽9日・岩手北部広域環境組合議会議員全員協議会（二戸市）▽15日・岩手県建設業協会二戸支部新年交賀会（二戸市）▽18日・二戸法人会新春経済講演会（二戸市）▽20日・二戸地区交通安全協会軽米分会・八戸地区交通安全協会南郷支部合同研修交流会▽21日・軽邑まちづくり塾第3期生修了式▽21日・岩手県町村議会議長会第4回定例理事会（盛岡市）▽23日・第2回軽米町キャリア教育推進協議会



首都圏交流ツアー

▽25日・カシオペア青年会議所通常総会（二戸市）▽26日・首都圏交流者との産地交流ツアー交流会▽30日・軽米建友会新年会▽31日・登記促進委員会▽31日・議員と誘致企業等との懇談会



生涯学習フェスティバル

【2月】

▽3日・第11回軽米町生涯学習フェスティバル▽3日・公明党岩手県本部「政経懇話会」（盛岡市）▽8日・二戸地方農林水産振興大会（二戸市）▽12日・県北地区選出岩手県議会議員との懇談会（盛岡市）▽15日・岩手県町村議会議長会定期総会▽15日・軽米町馬産振興会新年会▽16日・在八軽米郷和会新年祝賀会（八戸市）▽17日・T P Pを学ぶ会「T P Pって何？」学習講演会（二戸市）▽18日・二戸地区広域行政事務組合定例会（二戸市）▽20日・岩手北部広域環境組合議会定例会（二戸市）▽20日・議員と岩手県立軽米病院との懇談会▽21日・議会運営委員会▽24日・鈴木俊一二戸ブロック新春のつどい（二戸市）▽25日・全員協議会▽26日・岩手情報文化研究会（盛岡市）▽27日・二戸地方森林組合通常総代会（二戸市）▽28～3月12日・第16回軽米町議会定例会

【3月】

▽3日・自治公民館活動交流会▽10日・晴山中学校卒業式▽12日・議員と軽和会との懇談会▽13日・笹渡小中学校卒業式▽13日・軽米中学校卒業

式▽13日・小軽米中学校卒業式▽15日・小軽米小学校卒業式▽16日・軽米小学校卒業式▽17日・軽米戦没者慰霊祭▽19日・晴山小学校卒業式▽21日・軽米町表彰式典▽21日・軽米町小中学校転退任教職員離任式・三者合同送別会▽22日・議会運営委員会▽22日・軽米幼稚園卒園式▽22日・軽米保育園卒園式▽22日・小軽米保育園卒園式▽22日・登記促進委員会▽24日・山内生産森林組合通常総会▽25日・第17回軽米町議会臨時会▽25日・太陽光発電所建設用地調印式▽27日・岩手情報文化研究会



表彰式典

（盛岡市）▽29日・職員研修報告会▽29日・退職者送別会・職員交流会▽31日・軽米町そば生産組合総会

議長交際費を公開します

（1月～3月まで）

議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

各団体の総会や式典の会費などが主なものです。

詳しい内容は町のホームページに記載しています。

○お祝い（会費含む）
8件 32,000円

○弔事
1件 5,000円

議会活動レポート



軽米病院との懇談会

2月20日、軽米病院との懇談会を開催しました。
患者数や経営状況などの現状、医師やリハビリスタッフ不足などの課題、災害時の燃料確保などの要望、今後の医療の展望などを伺い、意見交換をおこないました。

誘致企業等との懇談会



1月31日、町内誘致企業等との懇談会を開催しました。
誘致企業4社から、現状や今後の課題、町への意見などを伺いました。
この後の3月定例会では、新規求職者地域雇用促進奨励金を新設するとの当局の説明があり、誘致企業への支援策等についての質疑や意見も多く出されました。

第17回臨時会

（3月25日議決）

人事案件

教育委員会の委員の選任について

江刺家睦子さん（下河南）を選任することに同意しました。

補正予算

平成24年度予算を下表のとおり補正しました。

臨時会で決まったこと

会計	補正前	補正額	計	歳出の主な内容
一般会計	6,142,189	121,016	6,263,205	町道舗装・修繕工事 町民体育館改修工事 など
国民健康保険	1,414,502	5,540	1,420,042	療養給付費 など
後期高齢者医療	79,300	600	79,900	予備費
介護保険	70,951	△2,351	68,600	不用金額の減額
下水道事業	165,553	27,174	192,727	下水道整備費

（単位：千円）

未来に残したい軽米の風景④



米田のシダレ赤松 (小軽米24-66)

垂れ下がった枝が特徴的な、樹齢380年（推定）、
高さ25メートルのアカマツです。
昭和48年に町の天然記念物として指定された時点では、
県内最大のシダレ赤松でした。

○このコーナーでは、軽米町の文化財などを紹介していきます。

編集後記

3月の定例議会は、
予算議会とも言われま
す。町長の施政方針演
述（本年の重点）や本
年度の予算が提案さ
れ、審議・議決される
花形の議会です。役場
からの防災無線で「議
会が開催されます、傍
聴ください」と放送さ
れますが、傍聴に来る
方は数名のみ。町が考
えている方向、税金の
使い方と町民の思いが
かみ合っていないので

は、と心配です。その
歯車をかみ合わせる役
割を議会報が果たせれ
ばと思っています。
軽米町の3人に1人
は65歳以上。その人た
ちの提案が町の元氣回
復につながります。「こ
こが聞きたい」「その
後どうなった」等、ご
意見をいただければと
思っております。

議会報編集委員会

議会報編集委員会
委員 山本幸男



委員長	上岩 紀男
副委員長	前田 泰穂
委員	山本 幸男
	泉山 優
	細谷地 多門
	松浦 満雄